



DNW-21022 の概要

課題名 : 多発性嚢胞腎の新規創薬標的の検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

石上 友章 (公立大学法人横浜市立大学医学部)

ステージ : 標的検証前期

【標的疾患】

多発性嚢胞腎 (PKD)

【創薬標的】

腎尿細管細胞

【創薬コンセプト】

腎尿細管細胞の機能を制御することで PKD の病態進展を予防又は改善する。

【ターゲットプロダクトプロファイル】

単独あるいは既存薬との併用で PKD の病態進展を予防又は改善できる経口投与可能な低分子治療薬

【モダリティの設定】

低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) ヒト腎近位尿細管細胞の機能評価系を構築した。
- 2) 上記評価系を用いたスクリーニングでツール化合物を取得した。

【科学的、技術的な優位性】

独自の機能評価系とツール化合物を有する。

【支援ステージにおける目標】

ツール化合物を用いて創薬コンセプトを検証する。

【関連特許】

無し

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。